

サモアO B会の設立20周年とサモア独立52周年を祝う

6月6日、サモア独立52周年と、青年海外協力隊サモアO B会設立20周年を祝う式典が都内で開催された。会場となった都内のホテルには、在京のサモア人や国会議員、外交団、援助機関のほか、JICAボランティア経験者など約120人が集まった。この「合同記念式典」は、サモアO B会が設立20周年という節目の年を迎えるにあたり、大使館に共催を提案し、開催された。

式典は、冒頭でレイアタウア特命全権大使とサモアO B会の大家一雄会長（S63・3・サモア・システムエンジニア）が挨拶を述べた後、「マヌイア！（サモア語で乾杯）」の掛け声で乾杯。参加者は思い出話に花を咲かせ、サモアの伝

統的な踊り「シバ」を鑑賞した。

サモアO B会はこの日、会の運営に大きく貢献した4人の関係者、レイアタウア大使、徳山薫・初代O B会長、山崎義行・二代目O B会長と、以前サモアに駐在し、歴代の協力隊員らを見守ってきた小林秀野氏に感謝状を贈った。



レイアタウア大使とサモアO B会関係者